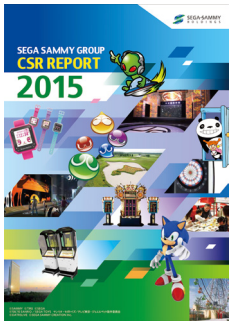

CSRレポート2015

詳細は
「CSRレポート2015」を
ご参照ください。

バリューチェーンで見るESGリスクと対応

遊技機事業は、企業価値の毀損を未然に防止するために、開発から製造、販売に至る各ビジネスプロセスにおいてビジネスの停滞、対応コストの上昇、ブランド価値の毀損等に繋がり得るESG（環境・社会・ガバナンス）リスクへの慎重な目配りを行っています。

開発

開発における社会リスクの例

規則の見直し等

遊技機メーカーによる射幸性の高い機械の開発や運用ルールの明確化に伴い、遊技機の型式試験を定める風適法施行規則（以下、規則）の見直しなど、規制が強化されることがあります。また、日本遊技機工業組合（日工組）において「のめり込み」対策にかかわる新たな申合せが決定されるなど、業界団体の内規への準拠も求められます。

対応 幅広いユーザーに気軽に楽しんでいただける機械の開発に力を注ぐとともに、のめり込み予防に向けて活動する業界団体への支援協力等により、業界全体で業界の健全な発展に取り組んでいます。

製造

製造における環境リスクの例

原材料による環境負荷と回収・余剰部材の処理

サミー（株）の生産工程では、電子部材等で余剰部品が発生する可能性があります。木材などの天然資源や、接着剤など環境に負荷をかける素材も使用しています。また、使用済み遊技機の適正な処理も重要な責務となっています。

対応 すべての事業プロセスを通じて、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを徹底しています。設計・開発段階では部材の共通化を進め、余剰部品の共用に努めています。廃棄段階では、自社下取りによるリユースと業界団体回収システムを利用した最終処分を行っています。またサプライヤーとの連携により環境負荷の少ない原材料の使用を促進しています。

販売

販売における社会リスクの例

不正によるイメージの悪化

不正改造された遊技機による営業活動や、不正な遊技等が、パチンコへのイメージを悪化させ、結果的に遊技機市場の縮小に繋がる恐れがあります。

対応 遊技機不正対策室を設け、市場情報を収集し、不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。また根拠のない攻略情報に対して、注意を促すなどの対策を講じています。

オペレーション